

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	プレミアム城南		
○保護者評価実施期間	令和8年1月4日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年12月20日		～ 令和8年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同グループの放課後等デイサービスを長期的にご利用頂いているご利用者様、また同じ学校に通っている児童が多く、それぞれ同級生であったりデイサービスで過ごすうちに、お互いの特性を知る事によって子ども同士及び職員と子ども達の信頼関係を築けている。	職員の役割のほかに、異性間の関わり方、子ども達の中にも役割を作る事。ソーシャルスキルトレーニングにより生涯自立にも繋がる自主性を育みながら、人との関わり方を知る事。	これまで児童がそれぞれ単独で行っていた活動を、こどもの成長に合わせ少しずつより高度な物に切り替えたり、将来を想定してグループや複数で行う活動を取り入れ、お互いに支えあう心を育てる。
2	保育所での勤務経験のある保育士など専門知識をもったスタッフがが多い。	経験を活かした支援を心掛け、日々のミーティングで、子ども達一人一人の特性に合わせた様々な支援方法を検討、スタッフ全員で考え、行動し、発信出来る場を設けている。	今後、児童発達支援管理責任者などの資格取得の機会を利用しスタッフのスキルアップに繋げていく
3	職員の定着率が高く、長期的に児童に関わる人材が多い事それにより、ご利用者様が安心して児童を預けて頂けること。	児童に対して優しく接するためには職員のプライベートが充実している事も必要、との視点から上長による定期的な面談を行い、職務上の悩みが無いかなど個別に話を聞いています。	上長と職員だけでなく職員間でも、相談し合ったり悩みを共有したりと、お互いを知り安心して働ける環境を拡充していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所移転後に契約を継続いただいた方は特に事業所内の環境など、普段の様子などがわからないとのアンケート結果が出ました。	子ども達が屋内に居る状況での見学は、他の子ども達が不穩になる場合もある事など配慮した場合、子ども達が不在の際にご見学頂く事が中心となってしまう	毎月の新聞やホームページなどで、屋内のご様子をよりわかりやすくお伝えするように工夫します。
2	毎月のご予約に際して、事業所の一日の利用定員を超えてのご利用はもちろん出来ないため、特に土日祝日についてご利用希望が多く、多数のご利用者様に日程変更などに応じて頂いている事。	比較的土日祝日に偏りがあるが、全体的に予約数が超過になりやすい傾向にある。特に学校の無い土日祝日のご利用ニーズに広く応じたいが、利用定員に関して違反は出来ない為断念している。	ご利用者様が多い日について、他の事業所をご紹介するなどの検討を進めて行きます。
3	非常災害時のマニュアル等を準備していますが、一部わからないとのご意見を賜りましたので、事業所に備え付けていること、またその内容についてお知らせする必要があると認識しました。	送迎時などの時間が限られた中での説明になるかと考えますが、こういった取り組みを行っている事をお伝えする必要があります、時間がないのではなく、時間は作って対応しないといけません。	非常災害時の対策など、送迎時や個人面談の機会などに周知、徹底を図る。